

## 南アルプス南部光岳森林生態系保護地域

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・南信森林管理署
所在地	長野県飯田市南信濃
面積	1,511.03ha(全て保全利用地区)
設定年	昭和53年4月1日設定、平成2年3月31日変更
保護林の概要 (設定目的)	南アルプス(赤石山脈)最南端に位置し、光岳(てかりだけ・2,591m)をはじめ、加加森山(2,419m)、中ノ尾根山(関東森林管理局管内、2,296m)など標高2,000mを超える一帯には、本州中部の太平洋側における山地帯から高山帯に至る植生の典型的な垂直分布がみられる。 我が国の主要な森林帯を代表する変化に富んだ原生的な森林生態系を、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的とする。



### モニタリング調査の概要

実施年度	令和7年度
調査項目	・森林概況調査/森林詳細調査 樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査 ・その他の調査等 資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林概況調査として調査ルートを設定し、林分の発達段階や病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況等の森林の概況を把握する。 森林詳細調査として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。
結果概要	継続してニホンジカの剥皮が確認されている保護林で、林分の後継樹への剥皮被害が多数確認され、登山道上に痕跡が散見される等、広い範囲で植生被害状況が確認された。 南アルプス全体で関係機関と連携した対策が実施されているので、本保護林においても対策の検討が求められる。